ガスバランス型ふろがま
取扱説明書 保証書付

品名	機器コード	型式名
NR-705BFDPB-H	11-049-20-09962	GUQ-5A-1
NR-705BFDPB-M	11-049-20-09963	GUQ-5A-1

もくじ

ご使用の前に
必ずお守りください(安全上の注意) ····· 2
各部のなまえとはたらき ····· 9

使いかた
おふろを沸かす・追いだきする ····· 10
シャワー・あがり湯を使う ····· 12
シャワー·あがり湯の温度を調節する ···· 14
使い終わったら ····· 14

必要なときに
凍結による破損を予防する ····· 15
日常の点検・お手入れのしかた ····· 17
故障・異常かな？と思ったら ····· 19
アフターサービスについて ····· 21
主な仕様 ····· 23
保証書 ····· 裏表紙

このたびはガスバランス型ふろがまをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
＊この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
＊保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
＊この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

TOKYO GAS

SBA8026

SBA8026 T

保 証 書

品 名	ガスバランス型ふろがま NR-705BFDPB-H，NR-705BFDPB-M
型式名	GUQ-5A-1

上記本体をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

1．保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、本体を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。
　熱交換器 ····· 3年
2．万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。
3．サービス員がお伺いした時に、本証書をご提示下さい。
4．保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。
（1） 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
（2） 取扱説明書等の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
（3） 器具を調整、改造された場合の不具合(但し、当社都合の場合はのぞきます)
（4） お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
（5） 建築躯体の変形等器具本体以外に起因する当該器具の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
（6） 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
（7） 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
（8） 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
（9） 電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
（10） 指定規格以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことに起因する不具合
（11） 給水・給湯配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
（12） 温泉水、井戸水等を給水したことに起因する不具合
（13） 本保証書を紛失された場合
5．無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合はお買い上げの販売店または、もよりの東京ガスへお問い合わせ下さい。

保証履行者　東京ガス株式会社　〒105−8527　東京都港区海岸1丁目5番20号

保証責任者　株式会社リンリツ　〒650−0033　神戸市中央区江戸町93番地

■お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日		
販 売 店		扱者印	
住　　所			
電話番号			

■修理記録

この本体の修理記録用紙は、本体の内側にあります。

■お客さまへ

1．この保証書をお受け取りになる時に販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
2．本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3．無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4．この保証書によって保証書を発行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

◆この取扱説明書は再生紙を使用しています◆

必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠危険

ガス漏れに気づいたときは、

必ずおこなう

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
   また、メーターのガス栓も閉める
3. 窓や戸を開ける
4. 販売店または、もよりの東京ガスに連絡する

ガス漏れ時は、絶対に

火気禁止

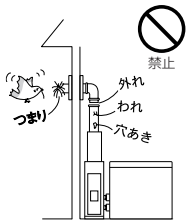
- 火をつけない
- 電気器具のスイッチの入・切をしない
- 電源プラグの抜き差しをしない
- 周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、
火災の原因になります。

給気筒・排気筒・給排気筒トップが外れたり、穴があいたり、詰まった状態で使用しない

禁止

排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。



以下の場合は、器具栓つまみを「0」に戻して5分以上たってから点火操作をする

必ずおこなう

(1)シャワー使用時または追いだき時、器具栓つまみを戻しすぎて口火を消してしまい、再点火操作する場合
(2)口火点火から本火へ着火のときに、3秒以上たっても本火が着火しない場合
(3)口火点火時に点火しにくい場合

すぐに点火すると機器内に残ったガスに爆発的に着火し、大きな音がして機器が変形することがあります。変形によるすき間ができたときは、使用をやめ修理を依頼してください。そのまま使用すると排気ガスが漏れて一酸化炭素中毒の原因になります。
上記(2)(3)がたびたび発生する場合は修理が必要ですので、販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。

⚠警告

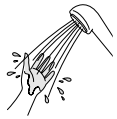
やけど予防のため、以下のことに気をつける

高温注意

入浴前には、充分お湯をかきまぜる

おふろ沸かし中や沸かしたあとは、浴槽のお湯の温度が上部と下部では、相当の温度差があります。

シャワーなどお湯の使用時は、手で湯温を確認してから使用する

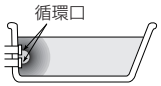


浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

シャワーなどお湯を使用中に、トイレの水を流すなど大量の水を使用すると、水道の水圧が下がり、熱いお湯が出る場合があるので注意する

使用中や使用直後は、機器や出湯管が熱くなるのでさわらない

おふろを沸かしているときは、循環口付近が熱くなるので手や体を近づけない



シャワーを使用中にお湯が止まった場合は、機器の底部から熱いお湯が出るので、注意する

地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

必ずおこなう

1. 器具栓つまみを「0」にする
2. ガス栓を閉める

3. 給水元栓を閉める

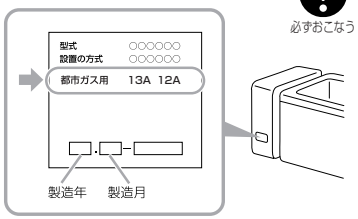
点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用途中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める

使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな?と思ったら」(☞P19~20)に従い処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店または、もよりの東京ガスに連絡する

必ず銘板に表示のガスで使用する

必ずおこなう



表示のガス種が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。
特に転居した場合は、必ずガスの種類が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、販売店または、もよりの東京ガスに連絡してください。

(つづく)

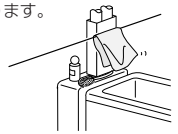
必ずお守りください(安全上の注意)-2

(つづき)

⚠警告

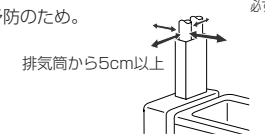
燃えやすい物をまわりに置かない(シャンプー、タオル、ブラシなど) 禁止

火災の原因になります。

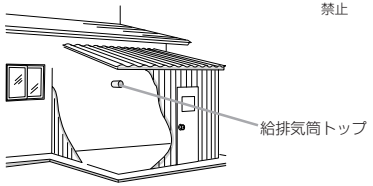


燃えやすい物とは離す(シャンプー、タオル、ブラシなど) 必ずおこなう

火災予防のため。



増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない) 禁止



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに給排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない 禁止

不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や給排気筒トップのまわりで使用しない 禁止

火災の原因になります。

使用するときは浴室の窓を閉める 必ずおこなう

給排気筒トップから出た排気ガスが浴室の窓など開口部から室内に流入し、一酸化炭素中毒の原因になります。

子供を浴室内で遊ばせない 子供だけで入浴させない 禁止

思わぬ事故の原因になります。

つまみはマークに合わせて使用する 必ずおこなう

各つまみはマーク以外の位置で使用すると、水圧の変化によって熱いお湯が出ることがあります。また、異常着火して大きな音がしたり、機器が変形することがあります。変形によるすき間ができたときは、使用をやめ修理を依頼してください。そのまま使用すると排気ガスが漏れて一酸化炭素中毒の原因になります。

シャワーなどお湯の使用時は、使用者以外、湯温調節つまみ・能力切換レバーはさわらない 禁止

やけど予防のため。
子供のいるご家庭では特に注意してください。

屋外に設置しない 禁止

雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。

機器本体やガスの配管(ホース)などに乗ったりして、無理な力を加えない 禁止

けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や給排気筒トップのまわりに置かない、使用しない 禁止

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

排水口はこまめに掃除する 必ずおこなう

排水口がつまると、機器内に水が入って点火の際に炎があふれ、機器の焼損や火災の原因になります。

お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない 分解禁止

思わぬ事故や故障の原因になります。

ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの東京ガスに依頼する 必ずおこなう

安全に使用していただくため。

機器から水漏れはないか確認する 必ずおこなう

思わぬ事故を予防するため。
お隣や階下にも多大な迷惑をかけます。

強化ガスホースを、折れたりねじれた状態にしない、機器の下に通さない 禁止

ガス漏れの原因になります。

強化ガスホースがひび割れたり接続部がゆるくなった場合は、販売店または、もよりの東京ガスに連絡する 必ずおこなう

太陽熱温水器とは絶対に接続しない 禁止

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

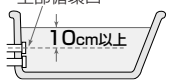
お出かけやおやすみ時は、必ず消火し、ガス栓を閉める 必ずおこなう

火災の原因になります。

⚠注意

おふろを沸かすときは、上部循環口より10cm以上、お湯(水)が入っているか確認する 必ずおこなう

空だきによる火災の原因になります。



使用中や使用後しばらくは、排気筒・給排気筒トップ付近に触れない 接触禁止

やけど予防のため。

給排気筒トップに指や棒を入れない 禁止

故障やけがの原因となります。

本火着火しないとき、 必ずおこなう

1. **操作をやめて器具栓つまみを「0」に戻す**
2. **約5分待ってから再操作する**
   (機器内にガスが残っている場合があるため)
3. **再操作しても着火しないときは、販売店または、もよりの東京ガスに連絡する**

異常な着火を予防するため。

口火が点火しないとき、または途中で消火したときは、5分以上待ってから再点火する 必ずおこなう

機器内に残ったガスによる点火時の爆発を予防するため。

点火確認窓を外したまま点火操作をしない 禁止

一酸化炭素中毒の原因になります。

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-3

(つづき)

⚠注意

浴槽のふたの上に乗ったり、手をついたりしない

高温注意

浴槽のふたは蒸気でやわらかくなることがあります。
おぼれたり、やけどの原因になります。
子供のいるご家庭では特に注意してください。

ホースを接続しての給湯使用禁止

禁止

出湯管(あがり湯)の先にホースなどを接続してお湯を使用しないでください。また、給湯配管して給湯栓をつけないでください。
お湯が絞られて熱湯が出たり、給湯栓を閉めても燃焼し続けるなど、やけどの原因になります。

子供を機器の周囲で遊ばせない

禁止

思わぬ事故の原因になります。

給湯、シャワー、おふろ以外の用途には使用しない

禁止

思わぬ事故を予防するため。

機器を使用中(燃焼中)は、ガス栓での消火はしない

禁止

爆発点火の原因になります。

機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、口火消火を確認し、機器が冷えてからおこなう

必ずおこなう

やけど予防のため。
機器の使用直後は、機器内のお湯や排気筒のまわりが高温になっています。

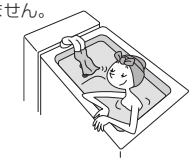
乾電池に関する注意(取り替え機器についてのお願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。
もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

お願い

浴槽の循環口をタオルなどでふさがない穴に物を詰めない

おふろ沸かしができません。
機器の故障の原因になります。



機器に法定のラベルが貼付されていることを確認する

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

浴槽はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。
この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない

入浴剤・ふろがま洗浄剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤・ふろがま洗浄剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させる原因になるものがあります。
これらを使用しておふろを沸かしたときに、異常音が出たり、おふろ沸かしができなくなる場合は、使用をやめてください。
ふろがま洗浄剤の使用に際しては、注意書きをよく読み、正しく使用してください。

塩素系のカビ洗浄剤、塩が機器や強化ガスホースなどにかかった場合は、すぐに水洗いする

機器や強化ガスホースの変質や変色の原因となります。

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと給排気筒トップとの間に充分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。
また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。
(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、もよりの東京ガスに確認してください)

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

機器に故意に水をかけない

水が内部に入り故障の原因になります。

積雪時には給排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給排気筒トップがふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

凍結による破損を予防する(☞P15～16)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(☞P15～16)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

機器の上にヘアピン、カミソリなどの金属性のものを置かない

機器がさび、穴あきなどの原因になります。

シャワーホースを折り曲げて使用しない

やけど予防のため。熱いお湯が出ることがあります。

シャワーヘッドは、浴槽や洗面器の水の中に入れない

逆流予防のため。

つまみの部分になるべく湯・水がかからないようにする

水が内部に入り、故障の原因になります。

浴室に洗濯機などの排水をする場合は、排水が直接機器にかからないように注意する

機器がさび、思わぬ事故の原因になります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する
使用中も正常に燃焼しているか確認する

ガス事故防止のため。

(つづく)

取扱説明
NR-705BFDPB-H
NR-705BFDPB-M
110492009962
110492009963
01

必ずお守りください(安全上の注意)-4

(つづき)

お願い

断水時は器具栓つまみを「O」にし、給水元栓を閉める

給水元栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

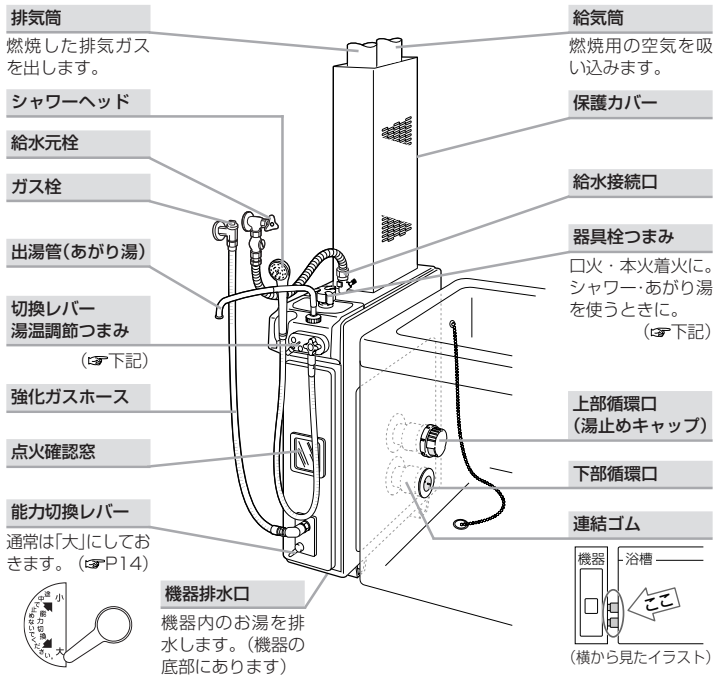
断水復帰後は、出湯管(あがり湯)から充分水を流してから使用する

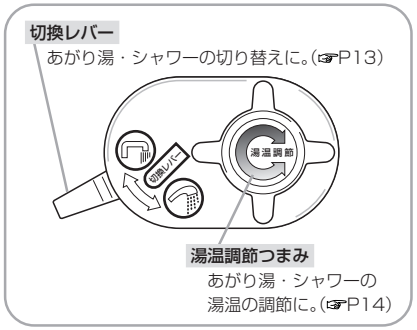
機器から使用中および使用後に「ボコン」のような音がすることがあります

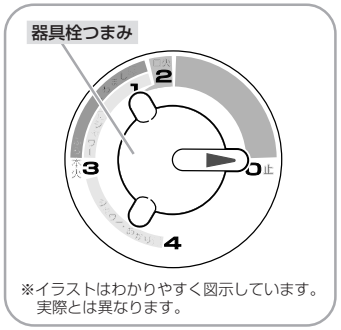
これは機器のケースが熱で膨張・収縮するためにおこるもので、故障ではありません。

各部のなまえとはたらき

イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓の位置など実際と異なります。

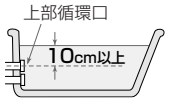
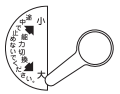
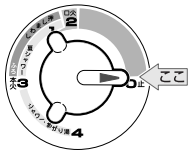
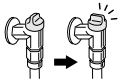
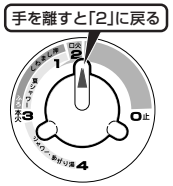


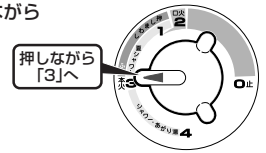
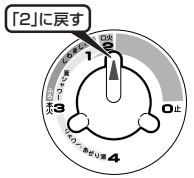




ご使用の前に

おふろを沸かす・追いだきする

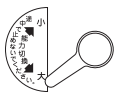
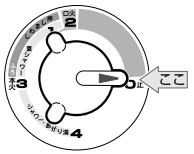
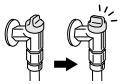
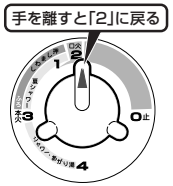
操作	お知らせ
準備 1．浴槽の排水栓を閉める（しっかり差し込む） 2．浴槽の上部循環口センターより10cm以上 水（お湯）が入っているか確認する  3．能力切換レバーが「大」の位置になっているか確認する  4．器具栓つまみが「0」の位置にあることを確認する  5．ガス栓を全開にする 	＊能力切換レバーが「小」になっていると、沸き上がりにかなり時間がかかります。
● 口火を点火する	
1 器具栓つまみを「0」から「1」へ止まるまで回す 【口火点火】	＊ゆっくりと確実におこない、すぐには手を離さないでください。
2 「1」の位置で器具栓つまみを持ったまま20秒くらい待ち、点火確認窓で点火を確認して手を離す 	＊「2」から「0」の間にすると口火が消えることがあります。 ＊口火が消えた場合は、5分以上待ってから再度点火操作をおこなってください。

操作	お知らせ
● おふろを沸かす・追いだきする	
1 器具栓つまみを押しながら「2」から「3」へ回す 【本火着火】 	＊着火します。 ＊押し回さないと、シャワー・あがり湯になります。
2 適温になったら、器具栓つまみを「2」に戻す 【本火消火】 	＊口火のみ点火しています。
● 使い終わったら	
口火を消火する（☞P14）	

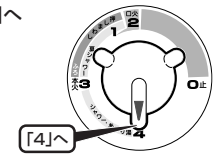
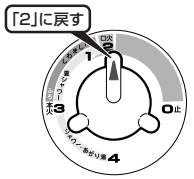
⚠警告	♨	入浴前には、充分お湯をかきまぜる 浴槽の湯温を手で確認してから入浴する 使用中や使用直後は、機器や出湯管が熱くなるのでさわらない おふろを沸かしているときは、循環口付近が熱くなるので手や体を近づけない
やけど予防のため。		
⚠注意	❗	おふろを沸かすときは、上部循環口より10cm以上、お湯（水）が入っているか確認する
空だきによる火災の原因になります。		

＊初めて使用するときは、ガスの配管などに空気がたまっているため、1回で点火しない場合があります。その場合はもう一度口火の点火操作をくりかえしてください。
＊器具栓つまみは「0」「1」「2」「3」「4」のいずれかの位置に合わせてください。中間の位置では止めないでください。
＊使用中、不快なにおいがする、炎に異常がある、点火が悪いなどの場合は、ガス栓を閉め、販売店または、もよりの東京ガスまでご連絡ください。

シャワー・あがり湯を使う-1

操作	お知らせ
準備 1．給水元栓が開いていることを確認する 2．能力切換レバーが「大」の位置になっているか確認する  3．器具栓つまみが「0」の位置にあることを確認する  4．ガス栓を全開にする 	＊浴槽に水(お湯)がなくても、シャワー・あがり湯を使用できます。
● 口火を点火する	
1 器具栓つまみを「0」から「1」へ止まるまで回す 【口火点火】 	＊ゆっくりと確実におこない、すぐには手を離さないでください。
2 「1」の位置で器具栓つまみを持ったまま20秒くらい待ち、点火確認窓で点火を確認して手を離す 	＊「2」から「0」の間にすると口火が消えることがあります。 ＊口火が消えた場合は、5分以上待ってから再度点火操作をおこなってください。

⚠警告	シャワーなどお湯の使用時は、手で湯温を確認してから使用する シャワーなどお湯を使用中に、トイレの水を流すなど大量の水を使用すると、水道の水圧が下がり、熱いお湯が出る場合があるので注意する 使用中や使用直後は、機器や出湯管が熱くなるのでさわらない
やけど予防のため。	

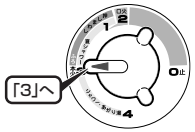
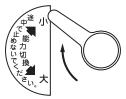
操作	お知らせ
● シャワー・あがり湯を切り替える	
切換レバーで切り替える 	
● お湯を出す	
器具栓つまみを「2」から「4」へ回す 	＊本火が着火して、お湯が出ます。
● お湯を止める	
器具栓つまみを「2」に戻す 	＊シャワー・あがり湯を止めると、機器の底部から自動的に排水します。 ＊口火のみ点火しています。
● 使い終わったら	
口火を消火する(☞P14)	

(つづく)

＊浴槽にお湯(水)がない状態でシャワー・あがり湯を使うと、循環口から湯気が出たり循環口が熱くなったりすることがありますが、異常ではありません。

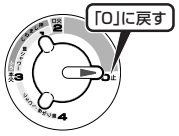
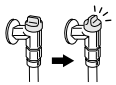
シャワー・あがり湯を使う-2

（つづき）

操作	お知らせ
● シャワー・あがり湯の温度を調節する	
湯温調節つまみを回して調節する 	＊右へ回すと(熱くすると)お湯の量が少なくなります。
● 夏場など、湯温調節つまみで調節してもなお熱いときは	
器具栓つまみを「3」にする  それでも熱い場合は、能力切換レバーを「小」にする 	＊能力切換レバーは途中で止めないでください。 ＊使用後は、「大」に戻してください。

⚠警告	シャワーなどお湯の使用時は、手で湯温を確認してから使用する シャワーなどお湯の使用時は、使用者以外、湯温調節つまみ・能力切換レバーはさわらない
やけど予防のため。子供のいるご家庭では特に注意してください。	

使い終わったら

操作	お知らせ
1 器具栓つまみを「0」に戻す【口火消火】 	
2 ガス栓を閉める 	

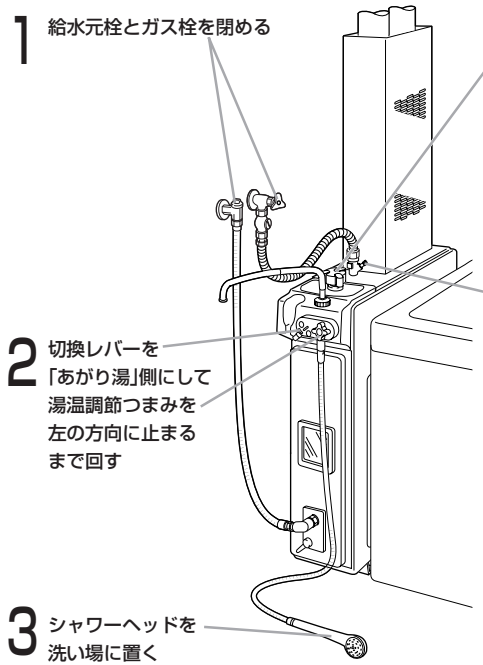
凍結による破損を予防する-1

冬期、冷え込みが厳しく凍結するおそれのある日、または不在などで長期間使用しないときは、次の要領で水抜きをしてください。

お願い	凍結による破損を予防する
＊暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。 ＊凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。	

水抜きのしかた

⚠注意	機器の水抜きをする場合、口火消火を確認し、機器が冷えてからおこなう
やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯や排気筒のまわりが高温になっています。	



凍結による破損を予防する-2

水抜き後の再使用のとき

1. シャワーヘッドを元に戻す。
2. 給水接続口のエアーチャージ栓を右に回して閉める。
3. 器具栓つまみを「0」の位置まで戻す。
4. 給水元栓を全開にし、出湯管を浴槽に向ける。
5. 器具栓つまみを「3」か「4」まで回す。（水が出ます）
6. 水が出ることを確認したら、器具栓つまみを「0」に戻す。
7. ガス栓を全開にする。

＊水抜き後、初めて使用するときは、ガスの配管などに空気がたまっているため、1回で点火しない場合があります。その場合はもう一度口火の点火操作を繰り返してください。

凍結した場合

凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
出湯管やシャワーから水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

日常の点検・お手入れのしかた-1

⚠注意 **機器の点検・お手入れをする場合、口火消火を確認し、機器が冷えてからおこなう**

やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯や排気筒のまわりが高温になっています。

点検（定期的に）

チェック **給排気筒トップにススがついていないか？**

➡ ついていたら、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

チェック **給気筒・排気筒・給排気筒トップが外れたり、穴があいたり、詰まったりしていないか？**

➡ 現象があった場合は、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

チェック **機器や排気筒のまわりにシャンプー・タオル・ブラシなど、燃えやすいものを置いていないか？**

➡ 燃えやすいものを置かない。

チェック **＊強化ガスホースが、折れたりねじれたりしていないか？機器の下に通っていないか？**
＊強化ガスホースがひび割れたり接続部がゆるんだりしていないか？
＊強化ガスホースが古くなっていないか？

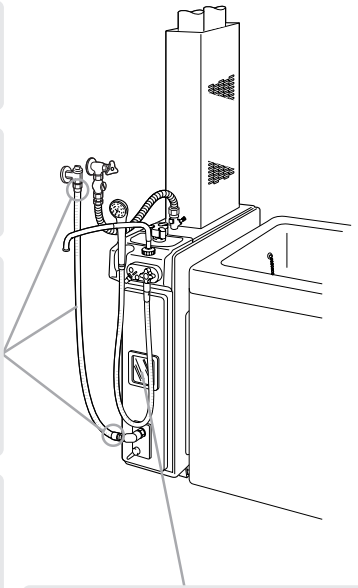
➡ 異常があったら早めに交換してください。（販売店にご相談ください）

チェック **＊機器外装に異常な変色はないか？**
＊機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？
＊運転中に機器から異常音が聞こえないか？
＊機器・配管から水漏れはないか？

➡ 現象があった場合は、販売店または、もよりの東京ガスへ連絡する。

チェック **給排気筒トップがほこりなどでふさがっていないか？**

➡ ふさがっている場合は、掃除する。



チェック **点火確認窓が汚れでくもっていないか？**

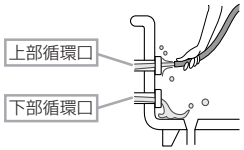
➡ 汚れている場合は、掃除する。

日常の点検・お手入れのしかた-2

お手入れ(こまめに掃除)

● 機器内部 ●

1. 上部循環口の湯止めキャップを外す。
2. 循環口へ水道からのホースを近づけ、先をつまんで勢いよく水を出す。
3. 上部循環口、下部循環口と交互に水洗いして、機器内部をきれいにする。
4. 上部循環口に湯止めキャップを元どおりに付ける。



● 本体 ●

＊使用後、乾いた布で本体外装についた水分をふき取ってください。(タワシやブラシなどでこすらないでください)
＊点火確認窓は、炎がよく見えるようにときどきふいてください。
＊万一サビが浮き出た場合は、乾いた布でふき取ってください。そのまま放置するとサビが進行しますのでご注意ください。

● 浴室 ●

＊浴室は湿気が多いので、使用後は必ず窓などを開け、換気をよくしてください。
＊浴室の排水口をよく掃除して、排水が充分おこなえるようにし、本体の底部が水に浸からないようにしてください。

故障・異常かな？と思ったら-1

お湯・シャワー(あがり湯)

こんなときは	こんなことが考えられます	対策
口火がつかない	ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している。	**もよりの東京ガスに連絡を。**
	ガス栓が全開になっていない。	**ガス栓を全開に。**
	最初の操作時は、配管内に空気がたまっています。	**空気が抜けるまで、しばらく点火操作をくりかえす。**
口火はつくが器具栓つまみをはなすとすぐ消える	器具栓つまみを止まる所まで回していない。「1」の位置で器具栓つまみをはなすのが早い。	**器具栓つまみは「1」の位置(止まる所)まで回し、点火後約20秒そのまま待つ。**
	空だきした。	**浴槽に上部循環口より約10cm以上水を入れ自然に冷えてから再操作する。**
本火がつかない	給水元栓が開いていない。	**給水元栓を開く。**
使用中、突然シャワーが止まって、機器の底部から湯気や熱いお湯が出る	水道の水圧が低くなった場合や、湯温調節つまみを右(熱いほう)いっぱいに回した場合に、シャワーから熱湯が出るのを防ぐため、自動的にシャワーが止まることがあります。このとき、機器の底部から湯気や熱いお湯が出ます。	**下記参照。** **※器具栓つまみを「0」に戻さずに切換レバーをあがり湯側(出湯管側)にすると、熱いお湯が出るので注意する。**

【シャワーの復帰のしかた】
1. **器具栓つまみを「0」に戻す。**(機器底部からのお湯が止まります)
2. **切換レバーをあがり湯側(出湯管側)にする。**
3. **湯温調節つまみはなるべく左(ぬるいほう)に回しておく。**
4. **しばらく(約15分程度)するとシャワーが使えるようになるので、再度口火点火し、あがり湯(出湯管)からお湯を出して温度を確認してから、シャワーに切り替えて使用する。**

必要なときに

故障・異常かな？と思ったら-2

	こんなときは	こんなことが考えられます	対策
おふろ	沸き上がりに時間がかかる	ガス栓が全開になっていない。	**ガス栓を全開に。**
		強化ガスホースが極端にねじれたり、折れ曲がっている。	**強化ガスホースのねじれ、折れ曲がりを修正する。**
		能力切換レバーが「小」の位置になっている。	**通常は「大」の位置にしておく。**
	燃焼中、浴槽内をかくはんすると、上部循環口から気泡が出て「ボコン、ボコン」と音がする	本体内にたまっている空気が出ています。	**異常ではありません。**
	循環口の部分が熱くなる 循環口から湯気が出る	浴槽に水(お湯)が入っていない状態で、シャワー・あがり湯を使うと起こる現象です。	**異常ではありません。**
	浴槽の表面のお湯が熱くなる	浴槽にお湯が入っている状態で、シャワー・あがり湯を長く使うと起こる現象です。	**異常ではありません。**
機器全般	寒い日に給排気筒トップから白い煙が出る	冬に、はく息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。	**異常ではありません。**
	連結ゴムに水滴がついている	おもに夏場、室温と水温の差によって水滴がつく現象で、水漏れではありません。	**異常ではありません。**
	本体下部からお湯が出る	シャワー・あがり湯を使い終わると、自動的に本体内のお湯が排水されます。	**異常ではありません。**

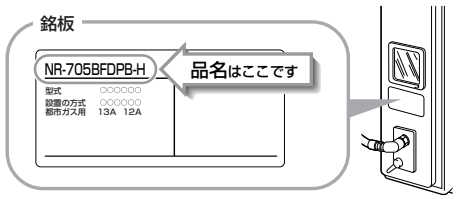
アフターサービスについて-1

サービスを依頼されるとき

P19～20の「故障・異常かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの東京ガスにご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容 ●

品名 ····· 機器正面に貼り付けてある銘板または保証書をご覧ください
お買い上げ日 ··· 保証書をご覧ください
異常の状況 ····· 故障表示など、できるだけくわしく
ご住所・ご氏名・電話番号
訪問ご希望日



※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください)

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず販売店名・お買い上げ日などが記入されているのを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

(つづく)

アフターサービスについて-2

（つづき）

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。
不明のときは、移設先のガス事業者、販売店または、もよりの東京ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。
※ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。

その他

BL認定品には、機器の正面にBLマークを表示しています。
BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
(財)ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

主な仕様

・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
・出湯量はおよその計算値です。
・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕　様　表

品名		NR-705BFDPB-H，NR-705BFDPB-M
型式名		GUQ-5A-1
設置方式		浴室内設置形
点火方式		圧電式点火
水圧	使用水圧〈MPa〉	0.1～0.7（1.0～7.0kgf/cm²）＜推奨水圧 約0.15～0.5（約1.5～5.0kgf/cm²）＞
	最低必要水圧〈kPa〉	49.1（0.5kgf/cm²）
外形寸法〈mm〉		高さ640×幅170×奥行600
質量（本体）〈kg〉		19
接続口径	給水	R1/2
	ガス	TU接続　R1/2
安全装置および制御装置		立消え安全装置、空だき安全装置、過熱防止装置、熱湯遮断弁、排水栓(後沸き防止用、過圧防止用)

能　力　表

使用ガス		1時間当りのガス消費量(最大消費量)〈kW〉	
		最大	ふろ側
都市ガス	13A	13.4	10.5
	12A	12.4	9.83

沸き上がり時間の目安(浴槽水量180L)		
夏(25℃→40℃)	春・秋(15℃→40℃)	冬(5℃→40℃)
約24分	約41分	約56分

シャワー・あがり湯出湯量(能力最大)〈L/分〉		
条件	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
浴槽に湯があるとき(湯温約43℃)	5.0	3.1
浴槽に水(お湯)がないとき	5.9	3.7